

入 試 年度	2025 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2025 年 2 月 1 日
課程	博士前期課程	研究科	農学研究科	専攻・コース	農業経済学専攻
入 試 方式	一般入学試験、 外国人留学生入学試験		試験科目	専門科目問 1	
「出題の意図」					
世界の食料問題に関する農業経済的な理解を問う問題です。					
「解答」または「解答例」					
【解答例（採点時の観点）】 観点：世界の人口、世界農業の食料生産力、生産された食料の分配、この三つの要因の 関係性を理解していることを求める。 解答例：人口と食料生産力の関係からみると、食料が全世界の人口に平等に分配されて いれば、食料不足問題は起こらない。しかし、食料は平等に分配されていないからこそ、 食料不足問題が生じる。					
合否判定の方法及び基準					
入学試験は農学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集す ることを目的に実施しています。 合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点 により合否を判断しております。					

入 試 年度	2025 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2025 年 2 月 1 日
課程	博士前期課程	研究科	農学研究科	専攻・コース	農業経済学専攻
入 試 方式	一般入学試験、 外国人留学生入学試験		試験科目	専門科目問 2	
「出題の意図」					
日本における重点的な農業政策の一つである「農林業の多面的機能の促進」についての理解度を確認するため、以下の 3 つの項目についてそれぞれ 100 字程度で述べさせた。回答の参考のためにキーワードを付した。 (1) 多面的機能の具体的な内容 (2) 促進のための政策、活動事例 (3) 政策等が必要となった背景 〔キーワード〕WTO 農業協定、有機農業、洪水防止機能、耕作放棄地、外部経済効果(プラスとマイナス)、環境保全型農業直接支払					
「解答」または「解答例」					
【解答例（採点時の観点）】					
(1) 農林業は食料生産の機能に伴い、貯水機能、洪水・土砂崩れ防止機能、生物多様性維持、温室効果ガス削減、景観形成、伝統文化維持、コミュニティ維持などの機能を果たしている。経済学的にはプラスの外部経済効果である。 (2) 特に中山間地域では耕作放棄地が増加していることから、集落を対象に中山間地域等直接支払が行われている。また、有機農業を含む環境保全型農業を営む農業者の団体に対しては環境保全型農業直接支払が行われている。 (3) 1995 年の WTO 農業協定発足により生産中立的な政策のみ実施可能になり、コメなどの農産物貿易の関税化がなされた。農産物貿易の自由化を進める国々に対し、日本は水田農業の多面的機能、水田固有の生態系の重要性を強調した。					
合否判定の方法及び基準					
入学試験は農学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。 合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。					